

設備・装置の高信頼性と長寿命化をはかるため、対処が難しい腐食形態の「応力腐食割れ」について解説

金属材料の応力腐食割れメカニズムと防止対策

日時
2017年 11月21日 (火)
10:30 ~ 16:30

税込受講料
1名 47,520円
2名以上1名 43,200円

案内図



飯田橋駅下車 各徒歩約5分
JR中央線(緩行線)
地下鉄東西線(A5出口)
地下鉄有楽町線・南北線(A4・B2a出口)
都営地下鉄大江戸線(A4出口)

<お申込要項>

- ・参加ご希望の方は、HP・E-mail・FAX電話、何れかにてお申込ください。
- ・お申込に際し、社名・部署名・受講者名住所・連絡先(TEL・FAX・E-mail)をお知らせください。
- ・お申込次第、受講票・請求書等を発送します。受講料のお支払は銀行振込・当日持参のいずれかをお願いします。
- ・受講料は講座後のお支払いも対応致します。(個人申込除く)
- ・開催日前14日以降のキャンセルは受けできません。
- ・受講者数が開催基準定員に満たない場合は中止になります。

会場 産業科学システムズ会議室(東京都千代田区富士見1-5-1)

多くの設備・装置の維持管理において、金属材料の腐食の抑制・防止が重要な課題とされています。腐食損傷の中でも、応力腐食割れ(Stress Corrosion Cracking, SCC)は、設備・装置を使用あるいは管理する者にとって「突然に」発生し「急激に」進展するので対処が難しい腐食形態と言えます。設備の高信頼性と長寿命化をはかるにはSCCのメカニズムを理解し適切な対策を講じることが肝要となってきます。今回は、まず応力腐食割れにおける材料・環境・応力面での要因、発生・成長メカニズムを解説します。そして、実務経験に基づいて実験室試験や損傷調査の方法と事例への応用を紹介し、最後に応力腐食割れの防止対策とその適用例について解説します。

講師 日鉄住金テクノロジー(株) 尼崎事業所材料評価部
上席主幹 工学博士 東 茂樹氏

内容

- ・はじめに
- 1. 金属の腐食形態
- 2. 湿潤腐食とガス腐食
- 3. 全面腐食と局部腐食
- 4. 局部腐食の種類と要因
 - ・応力腐食割れのメカニズム
 - 1. 応力腐食割れの要因
 - 2. 応力腐食割れのメカニズム
 - 3. 応力腐食割れと水素脆性
 - ・応力腐食割れの試験と評価
 - ・応力腐食割れの試験方法と調査方法
 - ・各種金属材料の応力腐食割れ特性
 - ・炭素鋼、ステンレス鋼など
 - ・応力腐食割れの防止対策
 - ・材料、環境および応力における防止対策

Solution and Consulting / 質疑応答

【事前アンケートのご質問について解説致します】 内容によって一部回答できない場合もございますので、ご了承ください

お申込・お問合せは

主催 ISS 産業科学システムズ
<http://www.ebrain-j.jp/>

TEL (03)3264-5635 FAX (03)3264-5675
E-mail: education@ebrain-j.com

申込書 FAXは 03-3264-5675

講座参加申込書 金属材料の応力腐食割れメカニズムと防止対策

セミナーコード

1101-171121

太枠内をご記入の上FAX (03-3264-5675) してください。

2017/11/21 ISS

社名	所在地	〒	電話	()
No.	所属部課 (正式名称)	氏名	E-mail アドレス	-
			FAX	()
窓口部署			お支払予定	当日ご持参 銀行振り込み
この講座をお知りになった媒体を○で囲んでください パンフ はがき Eメール ホームページ 検索サイト() その他				